

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE
ROAD

2022年
春号
vol.32

INDEX

- ◆ 令和3年度を振り返る(来年度に向けて)
- ◆ 令和3年度
愛知県精神保健福祉協会会長表彰
- ◆ 介護ロボット
なごやフェスタ2021開催
- ◆ 名古屋市立大学
医薬看連携地域参加型学習
- ◆ 障害者スポーツフォーラム
- ◆ 募集・事業所案内

事業団公式マスコットキャラクター
りはみん



発行：季刊オレンジロード編集委員会



令和3年度を振り返る（来年度に向けて）



名古屋市総合リハビリテーション事業団
名古屋市総合リハビリテーションセンター
副センター長 鈴木 智敦

2019年11月、中国武漢からの新型コロナウイルス感染症が世界的なパンデミックとなり、日本では2020年1月16日、初の感染者が確認されました。2年以上にわたる流行、脅威は、人の経済活動という動きによって広がり、世界では4億人を超える感染者と580万人*1を超える死者数を出しています。日本における、現在のオミクロン株の流行や第6波、3回目の新型コロナワクチン接種などを含め、2年前には想像だにしていなかったことが起きています。

どこの企業や組織、事業所においても同様かと思いますが、当事業団においても、特に病院の入院や障害者支援施設の入所など、患者・利用者さまにとっては欠かすことのできないサービスであるため、感染予防対策、感染拡大防止には十分注意をしながら取り組んでいます。

また、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画である事業継続計画(Business Continuity Plan、BCP)や事業継続マネジメント(Business Continuity Management、BCM)が必要となります。

現実的には、毎日のように職員の家族が陽性になった、濃厚接触者になった、あるいは学校や保育園などでの陽性者の発生により、休園・休校になった等々の連絡を受け、

情報に対応し、PCR検査や検討・判断を実施しています。正規・嘱託を含め430名*2あまりの職員数の中、累計で約80名*2の自宅待機や欠席者となっています(同時期の最大は15名強*2)。もちろん、概ねの職員は2回のワクチンを接種し3回目を随時接種中である中、クラスターや陽性重傷者の発生には至らず何とか業務の継続ができています。

このような状況下の中、多くの事業等に影響を受けているものの、新型コロナワクチン接種対応の実施、2021年7月、なごや高次脳機能障害支援センターを立ち上げ、自動車運転再開評価事業や高次脳機能障害児、失語症者等への取り組み強化を図ってきました。また、1年延期となった、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会には、当事業団の障害者スポーツセンター職員がスタッフやコーチとして貢献・活躍してきています。他にも、愛知県からの就労移行事業所等への支援強化事業を受託したり、ピアカウンセラーの養成モデル事業や視覚障害者の音響信号に変わる高度化PICSへの協力など、常に新しいことにも積極的に取り組んでいるところです。

新型コロナウイルス感染症については、まだまだ先が見えない状況です。しかしながら、総合リハビリテーションセンターとして、医療と福祉そして地域支援を含め、総合的に一体的に協働しながら、中核・専門施設としての名前に恥じないよう、職員一同一丸となり、さまざまな改善を図りながら、今後も患者・利用者・家族の皆さまのため業務に取り組んでまいります。

今後も皆さま方のご理解ご協力を賜りたいと存じます。

*1、2の数字は2022年2月14日現在のものです。

令和3年度愛知県精神保健福祉協会会長表彰

名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院
臨床心理科長 長野友里が、
愛知県精神保健福祉協会会長より表彰されました。



このたび、愛知県精神保健福祉協会会長より表彰をいただきました。この表彰は、精神保健福祉の発展に寄与し、その功績が顕著な個人および団体に授与されるもので、今年度は個人9名に授与されました。私は、平成元年に名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院(以下「当附属病院」という)に就職してから30年以上にわたり、ずっと「臨床心理士」として勤務してきたことや、高次脳機能障害の人たちへの支援が、業績として認められました。

私が就職した当時、臨床心理士が精神科や小児科以外の病院で正規雇用されることは、大変珍しいことでした。新聞に公募が出たとき、その珍しさも手伝って当附属病院に興味を感じたのを覚えています。実際に就職してみても「心理士」以外のパラメディカルスタッフは、ほぼ皆国家資格があるのに対して、心理士だけが(当時は協会資格すらまだ存在しない)公的資格のない職種であることを知りました。リハビリテーションの分野

で臨床心理士ができることは何か、医療保険点数が算定されない業務ばかりの中で何をすればよいのか、何をすれば患者さんや利用者さん、他のスタッフの役に立てるのかわからない中、故阿部順子先生と二人、手探りで進んできたというのが本当のところ

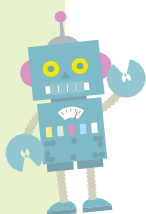
です。その後、厚生労働省の高次脳機能障害支援モデル事業に協力し、高次脳機能障害 友の会みずほ(旧脳外傷友の会みずほ)の設立を支援し、啓発のため、何冊かの本を出版するのに携わるなど、高次脳機能障害のある方や支援者の方たちのために何ができるのか、思いつく限りのことをしてきただけです。そして、その関わりの中で、障害を認識することの重要性や、当事者だけでなく家族にもカウンセリングなどのケアが必要であること、そこに心理士が携わることができるという可能性を見いだしてから「心理士」という業務に少しずつ光が当たってきたように思います。今では科員も私を含め4人に増え、いつのまにか(?)アラカンとなった私の後継として十分、いやそれ以上に活躍してくれていると感じています。

平成29年、ついに公認心理師の国家資格が誕生し、やっと他のスタッフと同じラインに立てた思いがしています。今回の表彰は、長年にわたり心理士の活動を見守ってくださった皆さま、一緒にチームとして働いてくださった皆さまのおかげだと思っております。これから先も「名古屋リハに心理士がいて良かった」と、思ってもらえるような働きができたらと思っております。

その後、厚生労働省の高次脳機能障害支援モデル事業に協力し、高次脳機能障害 友の会みずほ(旧脳外傷友の会みずほ)の設立を支援し、啓発のため、何冊かの本を出版するのに携わるなど、高次脳機能障害のある方や支援者の方たちのために何ができるのか、思いつく限りのことをしてきただけです。そして、その関わりの中で、障害を認識することの重要性や、当事者だけでなく家族にもカウンセリングなどのケアが必要であること、そこに心理士が携わることができるという可能性を見いだしてから「心理士」という業務に少しずつ光が当たってきたように思います。今では科員も私を含め4人に増え、いつのまにか(?)アラカンとなった私の後継として十分、いやそれ以上に活躍してくれていると感じています。

その後、厚生労働省の高次脳機能障害支援モデル事業に協力し、高次脳機能障害 友の会みずほ(旧脳外傷友の会みずほ)の設立を支援し、啓発のため、何冊かの本を出版するのに携わるなど、高次脳機能障害のある方や支援者の方たちのために何ができるのか、思いつく限りのことをしてきただけです。そして、その関わりの中で、障害を認識することの重要性や、当事者だけでなく家族にもカウンセリングなどのケアが必要であること、そこに心理士が携わることができるという可能性を見いだしてから「心理士」という業務に少しずつ光が当たってきたように思います。今では科員も私を含め4人に増え、いつのまにか(?)アラカンとなった私の後継として十分、いやそれ以上に活躍してくれていると感じています。





名古屋市介護ロボット等
活用推進事業

介護ロボット
なごやフェスタ2021
開催



2021年12月23日(木)～2022年2月27日(日)、なごや福祉用具プラザにて「介護ロボットなごやフェスタ2021」を開催しました。今年、なごや福祉用具プラザと名古屋市が主催となって、主に市内介護施設を対象に「移乗」「排泄・入浴・移動」「見守り・介護業務支援・コミュニケーション」にまつわる介護ロボットの展示・体験・相談会を開催しました。また、各ロボットメーカーのプレゼンテーション、介護ロボットの活用事例と導入のポイント、開発、実証・普及のプラットフォーム、行政説明・自治体の取り組みについて、なごや福祉用具プラザYouTubeチャンネルでWebセミナーを配信しました。

なお新型コロナウイルス感染予防対策として、事前予約・少人数制とし、検温・手指アルコール消毒と機器の清拭を徹底しました。

なごや福祉用具プラザでは、
介護ロボットを使って介護負担を軽減する
取り組みを行っています。



令和元年10月より「介護ロボット等活用推進事業」を開始し、これまで約2500件の介護ロボットに関する相談に応じています。介護ロボットのセミナーやイベントを行う「普及・啓発」、介護現場のお困りごとを確認し課題に合わせた介護ロボットを提案する「コンサルティング・マッチング」、介護事業所を対象に介護ロボットの導入効果を検証する「介護ロボット導入効果検証」を行っています。愛知県は全国的にみても介護職の有効求人倍率が高く、介護現場における介護人材不足と介護人材の確保が喫緊の課題となっています。

なごや福祉用具プラザでは、介護ロボットに精通した専門職(リハビリテーション工学技師、作業療法士、ソーシャルワーカー、看護師)が介護ロボットや福祉用具を活用した課題解決のサポートを行っています。

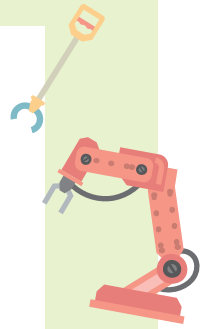
介護ロボットは、なごや福祉用具プラザに常設展示しているものがほとんどです。また開催終了後もWebセミナーをアーカイブ配信します。「いつでも、どこでも、なんどでも」必要な情報をお届けします。



展示・相談会

	テーマ	紹介した介護ロボット
12月23日(木) ~25日(土)	移乗	10機種
1月27日(木) ~29日(土)	排泄・入浴・移動	13機種
2月25日(金) ~27日(日)	見守り・介護業務支援・コミュニケーション	17機種

介護ロボットに関する相談・お問い合わせは、
電話:052-851-0051 FAX:052-851-0056
Email:robot@nagoya-rehab.or.jpまで。



Webセミナー

- 1 介護ロボットメーカープレゼンテーション
- 2 導入活用事例紹介
 - 12月 **施設での移乗課題への取り組み**
医療法人 幸世会 介護老人保健施設 セントラル内田橋 株式会社FUJI 移乗サポートロボットHugT1-02
 - 1月 **介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームについて**
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター健康長寿支援ロボットセンター
 - 2月 **施設での転倒リスクへの取り組み**
医療法人 純正会 介護老人保健施設 太陽 トーテックアメニティ株式会社 高齢者見守りシステム 見守りライブ

3 導入のポイント なごや福祉用具プラザ


- 4 行政説明・自治体の取り組み紹介
愛知県 介護ロボット導入支援事業補助金について
名古屋市 介護ロボット等活用推進事業について



Webセミナーアーカイブはこちらから 



これまでの取り組みの成果は、なごや福祉用具プラザホームページよりご確認いただくことができます。介護ロボットの紹介動画、導入・活用セミナーのアーカイブ動画、導入効果検証の報告書など取りそろえています。今後もイベントやセミナーの紹介を発信しますので、介護職員の負担軽減や介護人材不足の解決、介護の質の向上の目的にぜひご活用ください。

介護ロボット等
活用推進事業は
こちらから 



名古屋市立大学

医薬看連携地域参加型学習

昨年度に続き、今年度も名古屋市立大学の「医薬看連携地域参加型学習」の実習受け入れを、名古屋市総合リハビリテーションセンター（以下「当センター」という）附属病院で行いました。

このプログラムは名古屋市立大学の医療系3学部（医学、薬学、看護学部）の1年生を対象に実施されているものです。近隣の病院、施設などで入院患者さまや施設入所者さまなど向けに、レクリエーション企画などを考案し、実際に運営することで、患者さまなどのコミュニケーション能力の向上を狙い、また職種のを越えたプログラムに取り組むことで、チーム医療の基盤の獲得などを目指しているものです。

当センターでは今年で8回目の受け入れとなります。新型コロナウイルスの感染が収まりつつ（2021年11月現在）あるとはいえ、まだまだ大人数で集まるのは心配…ということで、昨年度同様オンラインでの企画を考案してもらいました。

昨年度は当センター側も準備に右往左往していましたが、さすがに2回目となると手慣れたもので、事前打ち合わせ、当日のリハーサルなども全てオンラインで行いました。学生さんにとっては、いまや授業もオンラインであったり、非対面は割と身近なようです。

さて、気になる企画の中身ですが、大きく分けて3つ「グーパー運動」「旗揚げゲーム」「ジェスチャーゲーム」です。



旗揚げゲーム

グーパー運動については、学生が画面上で見本を見せながら一緒に運動してもらうもので、認知症予防に効果ありとのこと。グーパーだけでなく、手をキツネの形にしたりなど意外と難しいです。

旗揚げゲームは、よくある「赤あげて↑白あげない↓」というゲームです。上げ下げだけでなく、横につきだしたり、旗を振ったり、アレンジが加えられており、なかなか難しかったです。

ジェスチャーゲームについては、学生が画面の向こうでやっているジェスチャーを見て、当ててもらおうというものです。「お題は動物です」のように、簡単なジャンルが最初に提示され、そこから予想して当ててもらおうのですが、難しいようだと学生からヒントが^{くせもの}出ます。これがなかなか曲者で、ヒントを聞いてますます混乱することも…。これが一番盛り上がっていたような気がします。

当日ご協力いただいた患者さまは7名。最後に一言ずつ感想をいただいた際「楽しかった」などのお言葉をいただきました。大きなアクシデントもなく皆さまに楽しんでいただけたと思います。

コロナ禍でさまざまな環境が一変しました。対面ではなくオンラインでの催しもだんだん一般的になってきていると感じていますが、学生だけでなく、参加した職員にも良い刺激になったと感じております。



昨年度同様オンラインでの開催

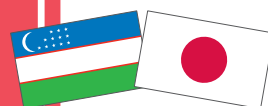
第1部

パラ柔道体験会の様子



名古屋市役所観光文化交流局観光交流部観光推進課と名古屋市が共催で、ホストタウン登録されているウズベキスタンのパラリンピアンとリモートでつながり、障害者スポーツを巡る環境等について情報交換および情報発信をすることで障害者スポーツの推進につなげるフォーラムを開催しました。

障害者 スポーツフォーラム



日 時	令和3年12月13日(月) 14:00~16:00
場 所	名古屋市障害者スポーツセンター 体育室
テ ー マ	「東京2020パラリンピックを終えて ~それぞれの立場から~」 東京2020パラリンピック開催に向けて準備してきたことなどを「柔道とアーチェリー」「アスリートとスタッフ」という異なる競技、異なる立場から振り返り、今後の障害者スポーツの理解促進・普及啓発の推進につなげる
スケジュール	[第1部] パラ柔道体験会 [第2部] トークショー
出演者	<p>ウズベキスタンパラリンピアン シェルゾド・ナモゾフ氏 東京2020パラリンピック男子60kg級5位 リオパラリンピック男子60kg級金メダリスト</p> <p>日本パラリンピアン 廣瀬 誠氏 リオパラリンピック男子60kg級銀メダリスト</p> <p>東京2020パラリンピック日本選手団スタッフ 大河原 裕貴 東京2020パラリンピック日本選手団アーチェリー (当事業団職員) 監督</p> <p>名古屋大学留学生サークル</p>



第2部

トークショーの様子



当日は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により無観客とし、加えて体育室内は運営に必要な最低限の人数のみとし、三密を回避する工夫をして開催しました。その様子は今後、動画をアップする予定にしています。



私たちと一緒に
働きませんか

事業団職員 大募集



随時
募集中
です!

職場見学
大歓迎



現在募集中

正規職員

看護師、作業療法士

嘱託職員

栄養士、調理補助、薬剤師

産休代替：作業療法士、理学療法士

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

正規職員募集
についてはこちら



嘱託職員募集
についてはこちら



事業団ウェブサイト

<https://www.nagoya-rehab.or.jp>

事業団公式HP▶



事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式

➡ @nagoya_rehab

事業所案内

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
- ・福祉スポーツセンター
- ・障害者就労支援センター めいりは
- ・なごや高次脳機能障害支援センター

〒467-8622
名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055
名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地
電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015
名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1
御器所ステーションビル3F
電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

- ・瑞穂区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5
NTT西日本八事ビル1階
電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743